

# ～ニホンザル被害防止対策について～

(取組主体名) 深浦町鳥獣被害防止対策協議会

(所在地) 青森県深浦町

## ■ 組織のプロフィール

深浦町では、ニホンザルやツキノワグマによるトマトやばれいしょ等の野菜、スズメ等による水稻の被害が発生しており、平成20年に警察署、行政連絡員、生産者団体、猟友会、JA、西北県民局による「深浦町鳥獣被害防止対策協議会」を設立し、地域ぐるみの被害防止対策を行っている。

平成26年度の町の農作物被害額は689万円で、ニホンザル406万円、スズメ114万円、ツキノワグマ31万円などとなっている。



## 1. 取組のきっかけ

- 深浦町のニホンザルは1970年台後半に山間部の集落に出没し始め、徐々に出没地域が拡大し、現在では、町内全域に出没し、平成26年度の生息頭数調査では、29群、953頭+αが確認されている。農作物被害はトマトやばれいしょなどを中心に発生し、平成18年度の1,428万円をピークに年々減少している。
- ニホンザルによる農作物被害が低減するために、平成20年に「被害防止計画」の策定及び「深浦町鳥獣被害防止対策協議会」を設置したほか、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した被害防止対策を開始した。

## 2. 取組の内容と特徴

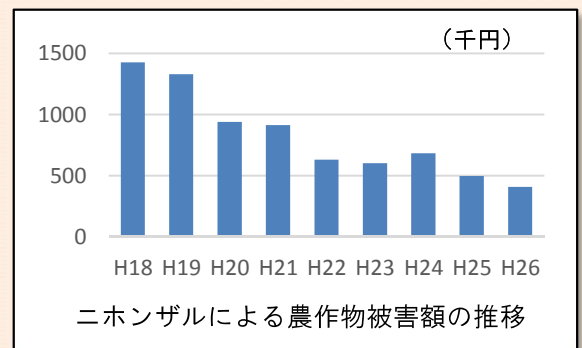
- 鳥獣被害対策実施隊及び猟友会中心に追い払い、箱わな等による捕獲等を実施している。また、平成23年度に2名、平成26年度に2名の計4名の町臨時職員を実施隊員に指名し、巡回と適時の追い払い体制を整備している。
- 毎年、ニホンザルの群や個体数把握のために、テレメトリを活用した調査を実施し、群や個体数等を把握し、追い払いや捕獲の参考としている。
- 各集落に「集落環境診断」の手法を導入して、生産者以外の集落の住人も巻き込み、耕作放棄地や放任園の雑草の刈り取りや緩衝帯の整備を行うなど、鳥獣被害に強い集落づくりを進めている。



## 3. 被害及び捕獲推移

- ニホンザルの農作物被害額は平成18年度の1,428万円をピークに減少している。特に、「被害防止計画」等が作成された平成20年度は938万円と減少し、平成26年度は406万円とピーク時の3分の1以下に減少した。
- 農作物を加害するニホンザルは、実施隊や猟友会が銃や箱わなによる捕獲を行っている。

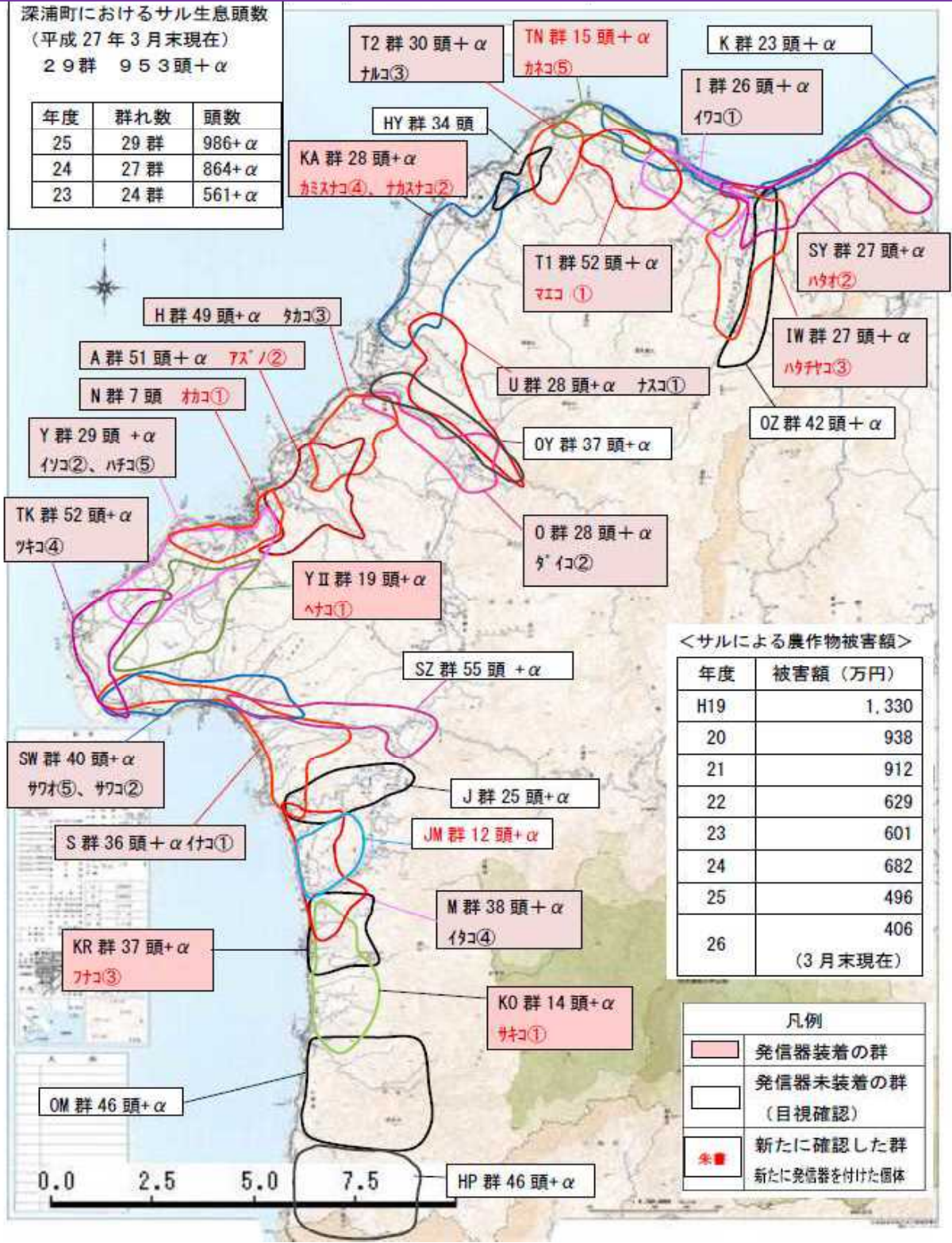
年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
捕獲頭数	60	50	49	71	71	91



## 4. 課題と今後の展望

- 生産者の高齢化や後継者不足等、農業を取り巻く状況は厳しく、少しの被害でも離農のきっかけとなることから、捕獲体制や地域ぐるみの被害対策の強化など、被害対策の効果を確認させる必要がある。
- また、捕獲を担当する実施隊員や猟友会会員の高齢化が進んでいることから、臨時職員として採用した実施隊員等への狩猟免許の取得や捕獲技術のスキルアップを行い、現状の捕獲体制の維持を図ることとしている。

# 参考資料 [ 深浦町鳥獣被害防止対策協議会 ]



深浦町における鳥獣被害額の推移

(千円)

	H22	H23	H24	H25	H26	H26/H22
農作物被害額	10,530	9,978	10,549	8,304	6,894	65.5 %
ニホンザル	6,291	6,011	6,825	4,963	4,061	64.5 %
ツキノワグマ	1,149	973	736	366	309	26.9 %
スズメ	1,119	1,125	1,117	1,113	1,144	102.2 %